

潜伏しやすい場所はココだ！



食器洗浄機の内部



業務用冷蔵庫のモーター周り



業務用冷蔵庫の天板裏



流し台の裏



ガスレンジの足部分



冷蔵庫や流し台の下に落ちているゴミ

●まとめ
 どんな薬剤を使用するよりも重要なことは、ゴキブリが住み着きにくい環境を作り、維持し続けること。そのために、ゴキブリの性質を知り、食品衛生の基本である5Sの実践をすることが不可欠となる。

底・実践

・冷蔵庫の排気熱等がカウンター下にこもらないように厨房機器の配置を工夫する

・冷蔵庫やシンクの下にゴミを落とすまにしない

・不要な段ボールを厨房内に放置しない

・ゴキブリが住み着かない環境を整備する

方式。巢の中のゴキブリは、死骸や糞も食べるためドミノ効果を発揮する。

■**ハイト処理**
 誘引剤でおびき寄せ、喫食させて駆除する

■**空間処理**
 薬剤を霧・煙・ガス化し室内に充滿させる方式。

2方式は併用されることが多い。卵には効果が無い。

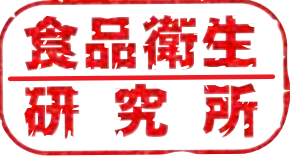
■**残留処理(散布方式)**
 一般的な消毒方式、薬剤を散布しゴキブリがその上を歩き皮膚から浸透して効果を発揮する。

代表的な駆除方法

駆除のポイント！

**進化する害虫“ゴキブリ”
 対策のポイントを解説！**

食品製造の現場に忍び寄る黒い影「ゴキブリ」。どこからともなく現れ、驚異的な繁殖力で増殖していく。“ゴキブリ対策”は衛生的な環境を構築するうえで必要不可欠な項目である。進化し続ける「ゴキブリ」撃退のポイントとは？国内約1000施設もの衛生管理を手がけるゴキブリ対策のプロ(株)クリーンライフ代表取締役の大野宗氏に伺った。



大野宗社長

世界では約3500種類のゴキブリが知られているが、未知の種まで含めると4000種は下らないと言われている。日本では51種類が記録されているが、害虫として代表的なものは3種類。

ゴキブリの種類と特徴

	チャバネゴキブリ	クロゴキブリ	ワモンゴキブリ
体長	10~15mm(小型)	30~40mm	45mm(日本最大)
性質	寒さに弱い	比較的寒さに強い	日本で最も大きい種
生息地	暖かく暖房のある建物内に生息する典型的な都市型ゴキブリ。	屋内屋外ともに生息。一般家庭で見かけるのはこのゴキブリ。	南九州、沖縄に生息。最近、関西でも見かけるようになった。
成虫の寿命	オス:50~170日 メス:80~350日	約200日	200~700日
その他の特徴	1個の卵鞘から約40匹の幼虫が生まれ、1~3ヶ月で成虫になる。	1回に20~26個の卵を産み、8~10回の脱皮を繰り返して成虫になる。	前胸背の周辺に黄褐色のリング状の斑紋がある。一卵鞘中には16個の卵を持つ。

※ゴキブリは他の昆虫の変態(幼虫→さなぎ→成虫)と違い、脱皮を繰り返して成長する。さなぎの時期がなく、幼虫と成虫の食物や生活場所が同じ。



ゴキブリによる被害